

国際ロータリー第2530地区  
2023-24年度  
地区職業奉仕委員会セミナー

[どうする 職業奉仕]

職業奉仕委員会 相談役  
PDG 阿久津 肇

2023-24年度  
地区職業奉仕委員会

委員長	齋藤	純一
副委員長	小池	正幸
委員	内藤	哲太郎
	猪股	純一
	山名	二郎
	青木	謙二
ラーニング委員	上村	直人

地区副幹事	佐藤	永之
担当相談役	阿久津	肇

# 職業奉仕は分かり難い？



2680地区  
PDG 深川純一

生計を立てるため  
には職業で利益を  
求めること、利潤  
を上げる必要があ  
り、これは自分の  
為のもの



奉仕とは世の為、人  
の為のもの、即ち他  
人に尽くすこと

エネルギーの全く正反対の言葉を一つにして、ロータリー独特の概念である職業奉仕と言っている。職業を営む心も、奉仕の心もその向かっている方向は異なるが、行動を起こす元となる心は一つと考える。



親睦 Fellowship を深める最適な機会が例会出席であり、親睦とは温かい友情と相互の個性を尊重し、欠点を宥恕しあう寛容の心を確かめることで醸成される。

## 例会出席と職業奉仕

ロータリーの例会は、職業人が集まり、時間を共有し、「親睦」を深め、互いに学び合う「人づくり」の場でもある。例会で様々な考え方に会い、自らを高めていくことが求められる。

例会の場で人脈を培い、それぞれの職業活動を通じて人づくりを経験し、

「例会 → 職業奉仕 → 例会」という状況を理解していくことがロータリアンとして成長する要素と考える。

ロータリアンが  
[何を優先させ]  
[どのような行動を  
取るのか]  
戦略計画の指針として  
【中核的価値観】  
Core Values  
が2007年に採択された

## ロータリーの中核的価値観

今日の世界は、1905年の世界と同じではありません。人口動態が変わり、変化のスピードが加速し、テクノロジーによってつながりや奉仕の新たな機会が生み出されています。不変なのは、ロータリーを定義づける下記の価値観に対するニーズです。



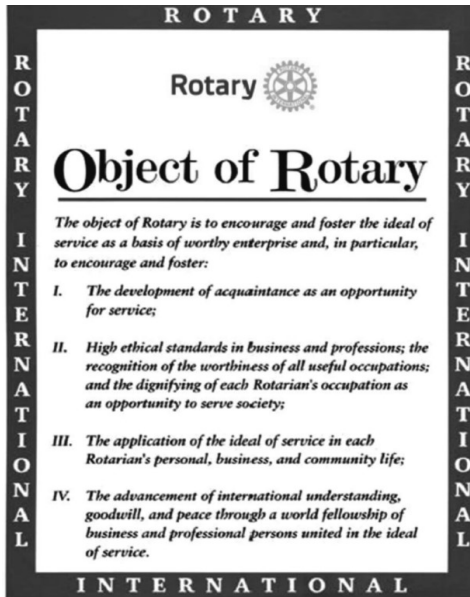
親睦

高潔性

多様性

奉仕

リーダーシップ



## ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。  
(主文)

具体的には、次の各項を奨励することである。

綱領  
奉仕の理想  
有益な事業  
世界的親交

目的  
奉仕の理念  
意義ある事業  
世界的ネットワーク

[2012年 日本語訳変更]

第 1 ;

第 2 ; 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること

第 3 ;  
第 4 ;

## 職業奉仕指針の変遷

- 1915年 全分野の職業人を対象とするロータリーの倫理訓 (道德律)
- 1927年 四大奉仕部門採択
- 1943年 「四つのテスト」正式採用
- 1987年 職業奉仕に関する声明
- 1989年 ロータリアンの職業宣言
- 2011年 ロータリーの行動規範
- 2014年 改訂版
- 2014年 ロータリアンの行動規範
- 2019年 改訂版

## 全分野の職業人を対象とする ロータリー倫理訓 (道徳律)



道徳律

[全分野の職業人を対象とする  
ロータリー倫理訓](道徳律)は、  
職業倫理に関する基本的な考え  
方をまとめたもので、1915年サ  
ンフランシスコで開催された第  
6回ロータリークラブ国際連合  
会年次大会で採択された。  
自分の取引や野心、諸関係は常  
に社会の一員としての最高の義  
務を考慮すべきものとしている。



1. 価値ある職業の意義に目覚める。職業は社会に奉仕する絶好の機会として与えられたもの
2. 自己革新に努め、能力を高め、奉仕の輪を広げ、それによって信奉するロータリーの基本理念、「最もよく奉仕する者 最も多く報いられる」ということを実証する
3. 自分は事業の人である。従って成功への野心もある。しかし、それより先に、道徳的人間であることを自覚する。最高の正義と道徳に基づかない成功は望むところでない
4. 収入を得る為に商品、労力、知能を提供するが、それに関わる当事者が等しくそれによって潤う場合のみ、適法と心得る

5. 自ら携わる職業の水準を高めるため全力を捧げ、仲間が私のやり方を手本にすることが賢明であり、また利益をもたらし、幸福に繋がる道だと悟るよう仕事をすすめる
6. 事業を営む場合には、同業者と同等又はそれに優るサービスを提供する。もしそれに自信がなければ採算上厳しい限度を超えても、それを上回るサービスを心がける
7. 専門職務または事業に携わる者にとって、最大の資産は友人であり、友情の故に得られた便益は何れも皆道徳的にしてかつ正当なものとして理解する
8. 真の友人とは、互いに何ら求めるところのないもの。されば利益のために友情の絆を乱用することはロータリーの精神に反するのみである

9. 現実の社会秩序に照らして、明らかに自分以外の人には与えられないような、ある種の機会に不当に乗じて個人的成功を収めることは、適法かつ道徳的とは認められない。また物質的成功を得る為に、世人が道徳的に問題ありとして避けるようなことに、断じて手を染めない
10. 人間社会の他の人びとに対して負う義務以上のもの同僚ロータリアンに対して負うものではない。何故ならロータリーの真髄は、競争でなく協力にある。ロータリーの組織において偏狭な党派の存在は、断じて許されない。またロータリアンは、人権が単にロータリークラブに限られているものでなく、広く深く全人類に存在するものと断言して憚らない。この高い理想の故にこそ、ロータリーはすべての組織に属する全ての人びとを啓蒙すべく存在する

11. 結論的に言えば、黄金律の普遍性を信じる。「すべて人にせられんと思うことは、人にもまたその如くせよ」そして我々は、最善の人間共存社会とは、地球上の天然資源に対して、すべての人々に平等に門が開かれること、と主張して止まない

# ロータリアンの行動規範 (2019年1月 理事会会合)

ロータリアンとして、私は以下のように行動する

1. 個人として、また事業において高潔さと高い倫理基準をもって行動する
2. 取引の全てにおいて公正に努め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する
3. 自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、特別のニーズを抱える人びとを助け、地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める
4. ロータリーや他のロータリアンの評判を落とすような言動は避ける
5. ロータリーの会合、行事、活動においてハラスメントのない環境を維持し、ハラスメントの疑いがあれば報告し、ハラスメントを報告した人への報復が起こらないようにする



## 古沢文作

日清製油大連  
支店長 後、  
東京RC会長  
米山基金創設。  
[ロータリーの  
目的]と[ロー  
タリー道德律]  
の真髓を格調  
高い日本語で  
的確に表現し、  
1928年に発表

# 大連クラブのロータリー宣言

1. 須らく事業の人たるに先立ちて道義の人たるべし。蓋し、事業の経営に全力を傾倒するは、因って世を益せんが為なり。故に吾人は道義を無視して、所謂事業の成功を獲んとする者に与せず。
1. 成否を問うに先立ち、退いて義務を尽くさんことを思い、進んで奉仕を全うせんことを念う。自らを利するに先立ちて、他を益せんことを願う。最も能く奉仕する者、最も多く満たされることを吾人は疑わず。
3. 或いは特殊な関係を以って機会を壟断(一人占め)し、或いは世人の潔しとせざるに乗じて巨利を博す。これ吾人の最も忌むところなり。吾人の精神に反して、その信条を紊るは、利のために義を失うより甚だしきは無し。
4. 義を以て集まり、信を以て結び、切磋し、琢磨し、相扶け、相益す。これ吾人団結の本旨なり。然れども党を以て厚くすることなく、他を以て拒むことなく、私を以って党とする者にあらざるなり。
5. 徒爾(無駄)なる角逐(独り占め)と闘争とは世に行わるべからず。協力を以って博愛平等の理想を実現せざるべからず。然り、吾が同士はこの大義を世界に敷かんがために活躍す。吾がロータリーの崇高なる使命茲に在り。その存在の意義、亦茲に存す。

# 職業奉仕に関する重要なメッセージ

(ロータリー章典8.030.3.)

ロータリアン、クラブおよび地区は、職業奉仕の支援において以下の戦略を実施すべきである。

- 新会員の勧誘と入会において職業と職業分類の重視を強化する
- クラブの活動において職業を重視する手段を特定する
- クラブおよび地区レベルのロータリーにおいて、高潔の精神でビジネス・ネットワークを広げる活動を更に強調する
- 新世代の勧誘と指導の手段として、高潔の高潔の精神でビジネス・ネットワークを広げる活動を更に重視する
- 「**四つのテスト**」と「**ロータリアンの行動規範**」の関係、更にこれらがロータリーの価値観において如何に重要かを強調する

(2012年1月 RI 理事会会合)

# 職業奉仕に関する声明

(ロータリー章典8.030.1.)

職業奉仕とは、あらゆる職業に携わる中で、奉仕の理念の実践をロータリーが培い、支援することである。

「ロータリーの目的」第2項は職業奉仕の基礎として具体的には、以上を奨励し、育む。

- 職業上の高い倫理基準
- 役立つ仕事はすべて価値あるものとの認識
- 社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする事

上記の職業奉仕の理想に本来込められているのは次のものである。

1. 雇主、従業員、同僚への誠実忠実さ、またこの人たちや同業者、一般の人びと、職業上の知己すべての公正な扱い。
2. 自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てること。

## 職業奉仕はどう実践するか？

- 例会で各会員の職業について話し、互いの職業について学び合う
- 地域社会での奉仕プロジェクトで職業スキルを生かす
- 高潔の精神で仕事に取り組み、言動を通じて模範を示すことで倫理的な行動を周囲に促す
- 若者のキャリア目標を支援する
- 専門能力の開発を奨励し、指導する

(職業奉仕の手引き 255-JA)



1918年のヴェーバー

Max Weber  
(1864-1920)  
ドイツの社会・  
政治・経済学者

## 職業奉仕 Vocational Service

プロテスタントイイズムの倫理と資本主義の精神

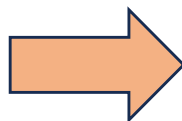
Die protestantische Ethik und der Geist des Kapitalismus

天職という概念は、世俗の職業は神の思し召しであり、神の意志に従うという思考。中世において宗教的意義が認められている仕事は、世俗外に生きる聖職者の仕事のみだったが、世俗内の日常的労働に宗教的意義をもたせるようになったのが、「天職」という言葉であり、観念であった。



## 天職

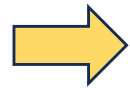
(Vocation ,Calling )  
(Beruf) という言葉は、宗教改革の時に行われたマルチン・ルターの聖書翻訳に由来する



天職という観念は、世俗の職業は神の召命であり、神から与えられた義務を遂行することこそが神の意志に適うと考える

中世においては宗教的意義が認められている仕事は、世俗的に生きる聖職者の仕事のみであった。だが、世俗内の日常的労働に宗教的意義を持たせるようになったのが、「天職」という言葉であり、観念だった。

き 禁欲的プロ  
ティスタンテ  
イズムは、金  
儲けは高く評  
価されるもの  
でなく、特に  
カルヴァン主  
義は最も禁欲  
的であり、金  
儲けを強硬に  
否定する宗教  
だった。



金儲けに正  
当性を与え  
られない社  
会では、金  
儲けは当然  
抑制され、  
近代資本主  
義に発展す  
ることはな  
い筈である。



しかし、最初から  
利潤の追求を目的  
とするのではなく、  
行動的禁欲をもっ  
て天職に勤勉に励  
み、その結果とし  
て利潤を得るので  
あれば、その利潤  
は安くて良質な商  
品やサービスを  
人々に提供した  
「隣人愛」の実践  
であり、その労働  
が神の御心に適っ  
ている証であり、  
救済を確信させる  
印である。

世界のロータリーでは自分の職業上のスキルを生かした奉仕活動は、個人であれクラブが行うものであれ、全て立派な「職業奉仕」の活動として実践されている。

国際ロータリーが定義している

「職業奉仕」とはロータリークラブの奉仕部門と一つとしている。現在日本のロータリーと国際ロータリーとの間には残念ながら不幸な現状がある。

日本のロータリーは、世界全体の活動の中で大きな潮流や変化に取り残されつつある。

(2840地区前橋RC - 本田博己 PG)



職業スキルでの活動が世界標準であるとすれば、日本におけるこれまでの現状では確かに異様な風景に写るかも知れない。しかし、**立ち止まって世界標準と言われている職業奉仕が本当にロータリーが取り組むべき本筋だろうか**と考える。

ロータリー運動がそこだけに特化してよいものだろうか。職業奉仕の考えが矮小化されていないか。

(2620地区甲府北RC 小林聰一郎PG)

## 地区委員会

(ロータリー章典17.030.2)

以下の地区委員会を任命する

1. 財務
2. 会員増強
3. 公共イメージ
4. ローター財団
5. 研修

## 任意の地区委員会

1. 学友
2. 社会奉仕
3. 国際奉仕
4. 国際大会推進
5. 地区大会
6. 多様性、公平さ、インクルージョン
7. インターアクト
8. ローターアクト
9. ロータリー青少年指導者育成プログラム
10. 青少年交換
11. ロータリー友情交換

\* 地区規則・手続委員会



佐藤千寿 (1918-2008)  
1968-69 東京東RC会長  
1974-75 第258地区  
                  ガバナー  
1986 RI文献翻訳諮問  
                  委員

日本には古来、近江商人にみられる様な伝統的町人道、士魂商才が兼ね備わっていた。日本人の職業奉仕信仰は、こうした雰囲気の中で温められてきたことを見逃してはならない。われわれ日本のロータリアンは、国際ロータリーが年毎に職業奉仕という課題から遠ざかって、慈善事業に傾斜していくのを憂慮している。勤労と質素を美德とするピューリタン思想が色濃く残っていた時代には、日本の伝統的宗教観と職業観とは見事に共鳴していた。

## 老舗 しにせ



先祖代々から続いている店。またこれによって得られた顧客の**信用、愛顧**。

(広辞苑)

日本には、100年以上続く老舗が10万社ある世界屈指の老舗大国である。

例えば韓国では俗に「三代続く店はない」と言われる通り、100年続いている店や企業は一つもない。

これら多くの老舗は、「儲かる」か「役に立つ」かの二者択一を迫られると、一貫して**「役に立つ」**を選び、それを「社訓」や「社是」として受け継いできた。

(読売新聞 2007.5.12)



頭に菅笠、縞の道中合羽をはおり、肩には前後に振り分けた天秤棒。  
江戸時代から活躍した近江商人の行商スタイル

## 近江商人「三方よし」

「売り手よし」「買手よし」「世間よし」という共存共栄の精神を表す。原典は、江戸時代中期の近江商人である中村治兵衛が孫に残した書置きや初代伊藤忠兵衛が発した言葉にあるとされている。

近江商人は、自分の利益だけでなく、お客や社会の幸福にも貢献する商いを目指し、信用を得て繁盛した。



## 石田梅岩

(1685-1744)

江戸時代の思想家、  
倫理学者

## 石門心学

石田梅岩を開祖とし、仏教、儒教、神道の三つの思想を基礎とした思想  
[世間の有様をみれば立派な商人のように見えるが、暴利をむさぼる者あり。真の商人は先も立ち、我も立つことを思うなり]

「商人道の本質は、勤勉・誠実・正直に精神に立つ戻ること。

「満足」という商品 ↔ 「感謝」という対価  
「真実」という商品 ↔ 「信用」という対価



# ロータリーの樹



ロータリーの樹に「水と栄養」を送る「根」は、**クラブ奉仕**です。  
「根」から吸収された「水と栄養」即ち「奉仕の理念」は、ロータリーの根幹と言われる**職業奉仕**の「幹」に入り、「幹」の中にある「奉仕の理想」という導管を  
通って**社会奉仕**、**国際奉仕**という枝や葉に届き、そして**ロータリー財団**という花を咲かせます。

元RI 理事 渡辺好政



2002-03年度  
ビチャイ・ラタクル  
Bhichai Rattakul  
(タイ・トンブリRC)

間違いなくロータリークラブは生きている組織です。全ての組織体と同じく、成長しなければ滅亡することを、私は認めます。成長が停止した時に、衰退が始まります。しかし、成長の話をするに当たり、配慮しなければならないことは、単に会員の数を増やそうと言うものではありません。ロータリーを前進させ、ロータリーの理想に触れて自らを磨くことの出来る高い資質を有する人が必要なのです。我々は職業分類の原則を無視し、新会員にロータリー情報を十分に説明せず、出席の重要性や職業倫理を強調するのを怠ってきました。

(2007年11月 RI 2580地区大会 特別講演)

我々多くの者は憂慮に堪えないのであるが、ロータリーがその上に樹立されて今日の力と安定にまで築き上げられたその基本的特質の二つが次第に稀薄に、さらにより稀薄にされる方向に向かう傾向がある。

その二つとは、会員制度における職業分類の原則と、もう一つは例会への規則的な出席である。



1959-60年度  
ハロルド T.トーマス  
Harold T.Thomas  
(ニュージーランド・オークランドRC)



1991-92年度  
ラジェンドラ K.サバー  
Rajendra K.Saboo  
(インド・チャンディガールRC)

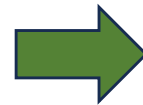
高い倫理基準を保持している職業奉仕を失うならば、ロータリーは地域の単なる奉仕団体に成り下がる。

## 職業分類

職業分類の原則は、クラブが地域社会をより多様に反映できるようにするためのものである。ロータリー各会員は、各自の事業、職業、または社会奉仕の種類に応じて分類される。

クラブが更に発展できる分野を見極めるために、職業分類のリストを活用する。

クラブは地元地域の現在の職業構成を反映させた職業分類調査を行うよう努力する。



## 制定案 16-36

### [会員身分と職業分類に柔軟性を認める件]

提案者 RI 理事会

クラブ細則の中で、会員の職業分類システムを削除または修正したり、会員身分に関する規定の一部を修正できるように、個々のロータリークラブに柔軟性を与えることを目的とする。

現行の職業分類の維持、入会資格の目的としては完全に削除またはより厳格、または緩やかなものの変更のいずれかを選ぶ柔軟性をクラブに与える。

Rotary



ロータリーが精神文化であり、倫理運動であり、人間育成の道場だとすれば、輝かしい古来の職業奉仕の理想に繋がる風潮を日本人には伝統的に伝えられてきた歴史があります。

私たちは、今改めて臆せず  
に職業奉仕の原点を追い求める決意を示したいと思  
います。

どうする  
職業奉仕



【原点に戻る】とは困迷した時、歩んできた道を出発点に戻って、その時の心情に思いを馳せること

## 五大奉仕部門 (RC 定款 第6条) (第2項)

奉仕の第二部門である職業奉仕は、事業および専門職務の道徳的水準を高め、品位ある業務はすべて尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理念を実行していくという目的を持つものである。

会員の役割りには、ロータリーの理念に従って自分自身を律し、事業を行うこと、そして自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てるために、クラブが開発したプロジェクトに応えることが含まれる。

下線文は2016年規定審議会を追加された

全てのクラブは、今後のあらゆる改正を含め、標準クラブ定款を採用するものとする。(RI 細則)



過酷なビジネス環境のもと、多くの企業が倒産していく中でも業績を伸ばしている業者がいることをアーサー・シェルドンは見出した。それは「商品の適正な価格と品質」「優れた接客態度」「嘘偽りのない広告」「アフターフォロー」などで、これらを彼は[サービス]と定義した。

シエルドンは、ロータリー職業奉仕理念の中核となった「One profits most who serves best 最もよく奉仕する者 最も多く報いられる」に基づく「サービス学」の概念をサイエンスとして捉え、継続的な事業の発展には、職業を通じて社会に貢献する意図をもって事業を営むべきと考えた。来たるべき修正資本主義を先取りした極めて斬新なものであった。



# 全く新しい革命



1959 - 60年度  
ハロルド T.トーマス  
Harold T. Thomas  
(ニュージーランド・オークランド R.C.)

「最もよく奉仕するもの 最も多く報  
いられる」というシェルドンの理論は、  
この言葉の持つ多種多様の含蓄と共に、  
当時のビジネスの世界にとって、全く新  
しい革命的なものであった。  
それは新しい考え方への、全く新しい見  
通しを展開したのであった。

---

あたかも、よろい戸を閉めた窓が開け放  
れて日の光が眺めると同じように。」

---